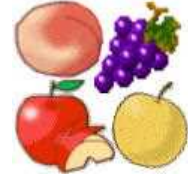




平成29年度 果樹情報 第15号

(平成29年10月18日)

福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況（10月前半：果樹研究所）

平均気温は、平年と比較すると1半旬が16.6℃で1.2℃低く、2半旬が17.8℃で1.6℃高く、3半旬が15.2℃で0.7℃低く経過しました。

この期間の降水量は19.5mmで平年の31%でした。

2 生育状況（10月15日時点：果樹研究所）

(1) りんご

ア 果実肥大状況

「ふじ」の暦日比較では、縦径が99%、横径が101%と平年並で、満開後日数による比較でも平年並です。

イ 「ふじ」の裂果発生状況

10月12日現在、裂果発生率はマルバカイドウ台（52年生）で40.0%と高い状況ですが、外部裂果率は5.0%と昨年よりやや少ない状況です。裂果発生率は前回調査した9月上旬よりやや増加しています。

表1 「ふじ」の裂果状況（10月12日現在）

調査樹	樹齢	外部裂果率(%)					裂果発生率(%)				
		H29	H28	H27	H26	H25	H29	H28	H27	H26	H25
ふじ/マルバ	52年生	5.0	8.3	4.1	10.4	17.4	40.0	35.0	23.3	35.4	39.1
ふじ/わい台	21年生	8.3	13.3	1.6	5.2	13.9	28.3	46.7	16.1	12.1	16.7

※ 調査規模：2～6樹の目通り付近から60果採取した。

※ 外部裂果率：つる割れ、浮皮等の割合、裂果発生率：外部裂果＋内部裂果の割合

ウ 「ふじ」の果実成熟状況

10月10日（満開後162日）における「ふじ」の成熟は、果肉硬度は13.2ポンドと平年より低く、デンプン指数は3.5でほぼ平年並みに推移しています。また、糖度（° Brix）は13.0、リンゴ酸は0.38%となっています。果皮のアントシアニン含量は平年よりやや高めに推移しています。

※りんごのデンプン指数：指数1～5で評価し、数値が高いほどデンプンの消失が進んでいます。

3 栽培上の留意点

(1) りんご

ア 「ふじ」の収穫前管理

摘葉、玉回しは遅れないように実施しましょう。

イ 「玉林」の収穫

未熟果（緑色果）を収穫すると食味が劣るので、果面全体に果点が浮き上がってきた果実から2～3回に分けて収穫しましょう。収穫適期は、果皮色が全体に黄色味を帯び、がくあ部付近にやや緑色が残っている状態の時です。果面から緑色が消えた果実は貯蔵性が低いので注意しましょう。

ウ 「ふじ」の収穫

本年の「ふじ」の成熟は、平年よりも果皮の着色がやや進み、果肉硬度の低下が見られています。一方、蜜入りやデンプンの消失は平年並みに推移しています。

収穫にあたっては、特に果肉硬度の低下に注意し、蜜入りの状態に加えて、果皮の着色や地色、食味等により収穫適期を総合的に判断しましょう。

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7344

(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>